

NO222

# 泉南走ろう会

連絡先  
泉南スポーツ社  
0724(83)×663

## ○ウルトラマラソン情報

I 毎年9月に行われていた野辺山のウルトラが今年は5月14日に開催されました。今年からコースが一部変更になり、更にサディスティンク?な坂が増えたとか。前半の八ヶ岳山麓を走るところではコース脇に積雪があり、後半の難所馬越峠の上りにランナーがさしかかるころにはどしゃ降りになったとか。(今年はさくら道ネーチャーランは冷たい雨と雪、さくら道は雨、それに対して富士五湖と萩往還は快晴となっています。ウルトラで雨男とは一緒になりたくないものです。)

(追加) 5月27日の阿蘇とかざろひもどしゃ降りだそうです。特に阿蘇では霧で何も見えないし、寒いし、道の両側から水が滝のように押し寄せてきて、「賽の河原状態」(どんな状態?) だったそうです。

II 昨年は2つのウルトラマラソンが人気を集めたしまなみ街道。ここのレンタサイクルが今年から乗り捨て可能となったそうです。瀬戸大橋、明石海峡大橋と違い歩行者も通行可能なこのルート。ランナーなら自転車とランニングとで満喫できそうです。ちなみにこのルートの途中に昔懐かしい「ひよっこりひよたん島」のモデルとなった島があります。

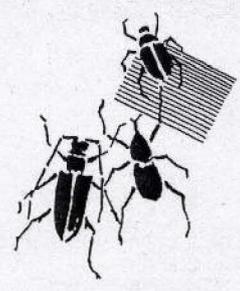
III 日本のトライアスロンの草分けと言えば男子では高石とやさん、女子では遠藤栄子さん。この2人は奇しくもウルトラマラソンの草分けでもあり、アメリカ大陸4700kを64日間で横断するトランスアメリカでの日本人男女の最初の完走者でもあります。遠藤さんは「ウルトラの女王」と呼ばれていましたが、トランスアメリカでの無理がたたったのか骨粗鬆症に似た症状を訴え、一切のスポーツから離れていたそうです。しかし、4年のブランクを経て今年の富士五湖で2位となりみごと復活を果たしました。わが走ろう会のスパーランナーである徳山さんは2月に傷めた膝の故障も回復しつつあります。故障の期間もまだ4ヶ月。徳山さん、あせらずに頑張れ!

IV ウルトラマラソンも市民権を獲得し、モンゴルの平原やサハラ砂漠でまで行われるようになってきました。今度はいまなお緊張が続く地域でのウルトラの誘いがネットで流れています。ソウルから板門店を通過してピョンヤンまで走ろうというもので、2002年の実現を目指しているそうです。北朝鮮、大韓民国両国の許可が出なければ諦める模様で、これから案を煮詰める状況ですが、お誘いのメールが出るや否や10通近い反響が殺到しています。ウルトラランナーってこんなの好きなのですね。表現に向けて一肌脱(金銭的にではなく、頭脳、時間を提供できる方)は、呼びかけ人である渡辺雅之(東京学芸大:メールアドレスllwatanabe@ui.gakugei.ac.jp)まで。

V 昨年の高野山ウルトラマラソン(110k)の結果と写真が送られてきました。送られていた文書には「今回が最後の挨拶」となるところだったが、「ようやく次回開催の目処がつかそうなところまで来た」旨が綴られていました。「参加者の意識が変わってきた」としか書かれておらず、詳しいことはわかりませんが、最近ウルトラがメジャーになるにつれ、確かに「いろいろな人」が参加するようになったと感じます。ウルトラの大会は、もともと「皆で一緒に走りましょう」といった趣旨で、手作りの大会(練習会)から出発したものも多いのに、参加者が増えるに連れ、「参加するのに高い参加料を払ってやったのだから当然」とばかりに完璧な運営を望んだり、徹夜でサポートしてくれているボランティアにあたりちらすような人もどの大会でも見られるようになりました。まだそんな人はほんの一部なのが救いですが、こんな意識の人が一握りでもいると大会の存続自体が難しくなるのですね。「いいかげんさ」が独特の味を出している高野山ウルトラマラソン、いつまでも続いてほしいものです。

VI 自らトランスアメリカを2度完走しているウルトラランナーであり、宮古島、しまなみ、さくら道、東海道などのウルトラマラソンを主催する海宝さん(海宝ロードランニング)がアラスカでのウルトラマラソンを企画しています。チエナ温泉からフェアバンクスまでの1000kを午前4時にスタートして18時までにゴールを目指すというもの。この大会は「アラスカ・オーロラ1000kウルトラマラソン」と名打たれており、オーロラの出現度の高い9月中旬開催予定です。運が良ければ、オーロラに見送られてスタートし、オーロラに迎えられてゴールできるかも。

VII 泉南走ろう会で異常な程経験者の多いウルトラマラソン。4月から5月にかけてはシーズンと見えて前述の大会以外に千葉飛翔、奥熊野、鯖街道、れんがの街など数多くの大会が開かれました。こうした大会の情報が一番豊富に得られるのがUMMLだと思えます。UMMLとは「ウルトラマラソンメンバーリングリスト」の略。メンバーリングリストとは、入会している一人が発信した文書(eメール)が他の全会員のもとに配信されるしくみですが、UMMLではウルトラマラソンに興味のある会員が300名以上集まっているので、毎週月曜日には全国各地のウルトラマラソンやフルマラソン等の参加記が送られてきます。事前に参加表明をだすと、同じ大会に参加する人から「私も参加します」といったメールが来たり、疑問を投げかけるとそれに対する答えが何通も寄せられたりします。職場以外で電子メールを利用できる環境にある人は是非参加してみたいかがでしょうか。各地のウルトラマラソンの情報に精通できるほか、全国に仲間ができます。ただし、毎週100kや250kといった大会の完走記のシャワーを浴びますから距離感が麻痺し、急に浴び込んだころには一般市民としての生活ができなくなる可能性があります。入会方法は石井まで。



お知らせ

- 例会
- 七月九日(日)
  - 場所 種河神社
  - 時間 九時集合
- 七月二十三日(日)
  - 場所 種河神社
  - 時間 九時集合

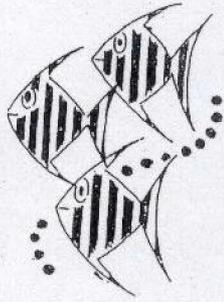
### ○シドニーオリンピック情報

1シドニーオリンピックまであと3ヶ月。陸上もあと一月のうちには代表が出揃いよいよ気分も高まってきました。  
注目のマラソンで男子の世界最高記録保持者であるハリド・ハヌーシが故障に寄りマラソンに参加できなくなりました。ダ・コスタも不調のため参加資格が得られず、少しさびしい顔ぶれとなりました。しかし、ケニヤは代表が6分台のタイムを持つタヌイ、ベストが7分台のコスゲイ、ラガトと豪華な顔ぶれ。ケニヤは女子も世界最高記録保持者のロルベを筆頭に、23分台のチエブチエバ、仙台育英に留学していた同じく23分台のベストをもつエスタ・ワンジロと強力なメンバーを揃えていて、シモンと日本代表を加えた争いが見物です。

4月30日にシドニー五輪のマラソンコースを利用して行われた「ホストシティマラソン」に日本から山口衛里、小幡佳代子、犬伏、川嶋、佐藤のオリンピックメンバーが参加しました。下見ということで順位は二の次ですが、オーストラリアのマラソンのレベルがそれほど高くないため、全員が賞金を獲得したそうです。今回の五輪は暑さとの戦いはありませんが、20kから小刻みなアップダウンが連続するコースに苦惱させそうです。勝負どころは24kのアンザック橋までの4k続く上りと橋からの急な下り、そしてスタジアム前の上りとなりそうです。勝負どころに余裕を持って臨めるのは誰でしょう。(参考：陸上競技マガジン6月号より)

田兵衛リレーカーニバルの女子投げで泉佐野市役所の職員である芝野さんが55m60cmで逆転優勝を飾ったそうです。オリンピックの参加A標準は60mですが、近隣からオリンピック代表が参加することになればその競技が身近に感じられるようになりますね。

IV毎日新聞のHPにオリンピック関係のデータが出ていました。こういう数字を目にすることは少ないのですが、出場者数、運営に必要な人員を見るとオリンピックってすごい大会なのだと思います。内側から見たオリンピックというものを是非文章にしてみました。森脇さん、いかがでしょう。



### ○自動車事故

昨年のベルリンで犬伏選手が2時間6分台のタイムを出すまで13年に渡ってマラソンの日本最高記録を保持していた児玉素介選手の名前を、思わぬ形で新聞で目にしました。(記事参照) 大会へ向う途中の事故だそうです。泉南走ろう会でもとまって参加するときは早めに出発することが多いのですが、個人参加だと時間に余裕がなくなり無理をしがち。スピード違反は大会だけに、行き帰りは安全運転を心がけましょう。(朝日新聞より 5月28日)

○大阪国際女子マラソンで最後までシモンとデッドヒートをくりひろげながらオリンピック代表を逃した弘山選手ですが、水戸国際の1万mで優勝し、トラックでの代表をほぼ手中にしました。彼女の実力からすれば当然といった感じですが、やはりマラソンの代表に漏れた当初は練習にも身が入らず調子がなかなか上がらなかったそうです。それもフルマラソンの練習・経験は1万mにとっても決して無駄ではなかった、と気持ちを入れ替えて大会に臨んだそうです。苦しい時にプラスの思考ができるかどうかで変わるというのは決して一流のランナーにだけあてはまることではないと思います。

○不況で企業のスポーツ活動が縮小されるなか、女子マラソンの小幡選手を擁する菅団地下鉄も活動を自粛することとなりました。ただし、理由は3月の日比谷線の事故に対する社会的な影響を考慮したもので、個人的な活動は続けられるとのこと。スポーツの世界は残念ながら周囲の環境とは無縁ではられないのですね。

### ○ヴァームとアミノバイタル

運動前後のアミノ酸補給、皆さんはヴァームを利用しますか。それともアミノバイタルを飲みますか。ヴァームは有森選手を広告に起用して売上げを伸ばしました(最近の高木選手を使いコミカル路線ですが)が、今度は味の素がいまなお人気の高い谷川真理さんとサポート契約を結んだそうです。今後は各地の大会でアミノバイタルのロゴの入ったウェアを着用。また、「アミノバイタルランニングクラブ」の主宰にも就任するのだそうです。

○泉南走ろう会での参加が恒例になっている龍神マラソン。ご存知の通り、その龍神村が泉南市とカッパルンディ(姉妹都市のようなものでしょうか)になるそうです。今年はその参加するに例年以上気合が入りますね。以上泉南市広報より

### 三菱重崎マラソン部

#### 役員ら4人

#### 事故で死傷

二十七日午前九時半ごろ、熊本県益城町福島の九州自動車道下り線で、三菱重工業長崎マラソン部監督の児玉素介さん(62)長崎市大浜町IIが運転していたワゴン車が中央分離帯のガードレールに衝突した。同乗していた四人のうち、同部元副部長の村上秀明さん(68)同市大手二丁目IIから二人が車外に投げ出され、村上さんが頭を強く打って即死。ほかの三人も頭などに怪しいけがをした。児玉さんけがはなかった。

県警高速隊の調べでは、現場は片側二車線の緩い右

カーブ。追い越し車線を走行中、雨でハンドルを取られたらしい。五人は同マラソン部の役員などで、益城町市で開かれた陸上大会に向かう途中だったとい

